

# ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり)

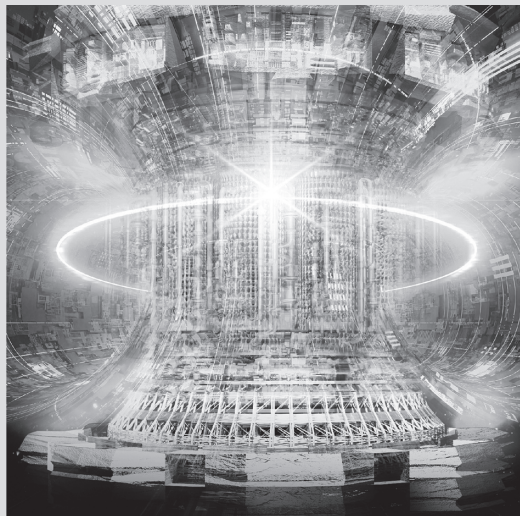
【愛称：電力革命】

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：電力革命あり

2024年10月28日から2025年10月21日まで

第 1 期 決算日：2025年10月21日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	15,074円
純資産総額(期末)	4,511百万円
騰落率(当期)	+50.7%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

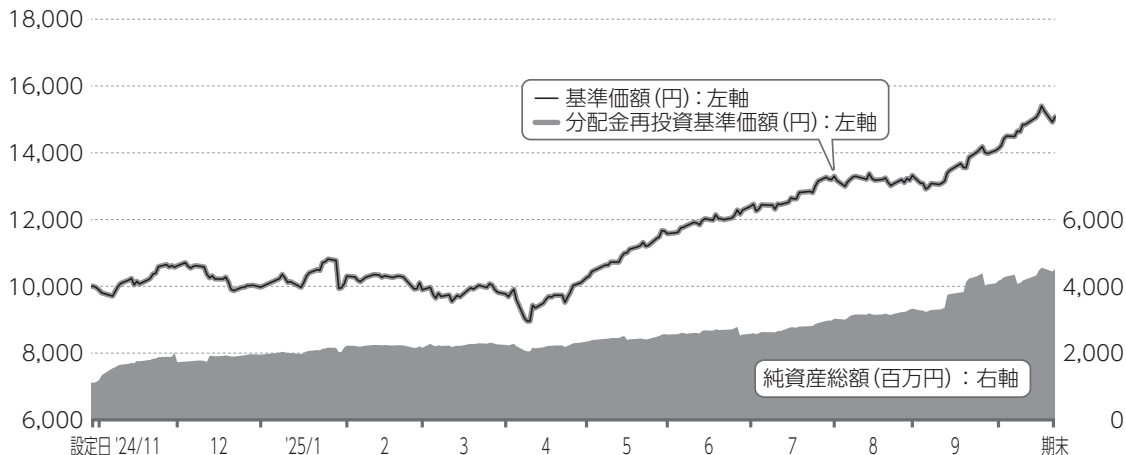
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

## 基準価額等の推移



設定日	10,000円
期末	15,074円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+50.7% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、電力需要の拡大や電力市場の変革に伴い恩恵を受けることが期待される、日本、新興国を含む世界の株式に投資しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

#### 上昇要因

- 燃料電池等の分散型電源システムを展開するブルーム・エナジーが、大型AI向け契約が相次いだことにより株価が堅調であったこと
- ガス・送電関連技術を提供するシーメンス・エナジーが、受注好調と収益目標上方修正により株価が堅調であったこと
- ウラン濃縮サービスを提供するセントラス・エナジーが、好業績と設備拡張計画発表が好感されて株価が上昇したこと

#### 下落要因

- 検査・技術サービスを提供するTICソリューションズ(アキュレン)が、業績予想の下振れとNV5買収後の統合不安により株価が軟調であったこと
- 建設・エンジニアリング事業を手掛けるフルオールが、下請けのミスとメキシコでの発注先とのトラブルの影響によるEPS(一株当たり純利益)低下から、株価が下落したこと
- 電線・ケーブル事業を展開するネクサンスが、業績見通しを堅持した一方でキャッシュフロー低下と大口株主による持ち分の売却が重荷となり、株価が調整したこと

1万口当たりの費用明細(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	201円	1.763%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,381円です。
(投信会社)	(111)	(0.974)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(86)	(0.757)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.032)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.083	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(9)	(0.083)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	13	0.118	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(13)	(0.118)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	226	1.983	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

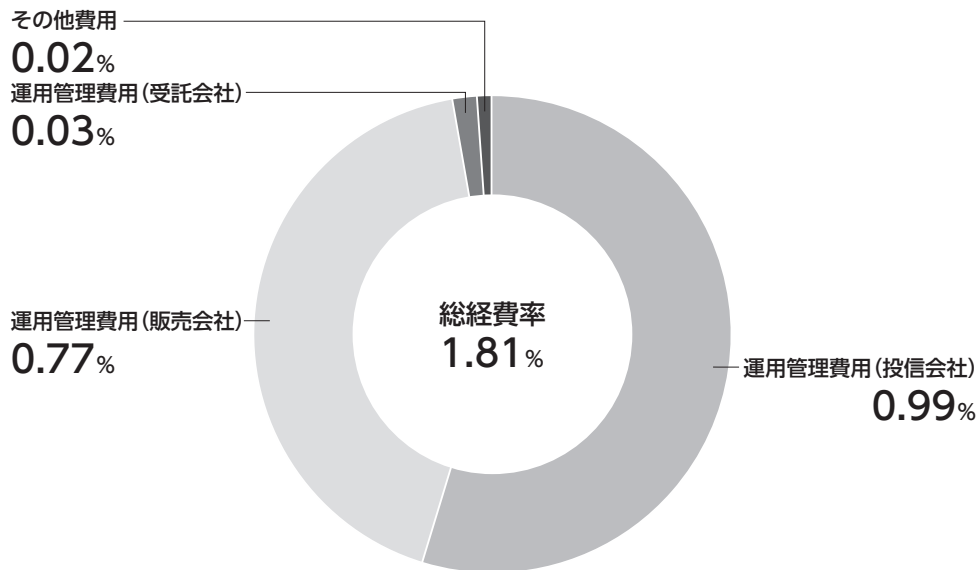
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

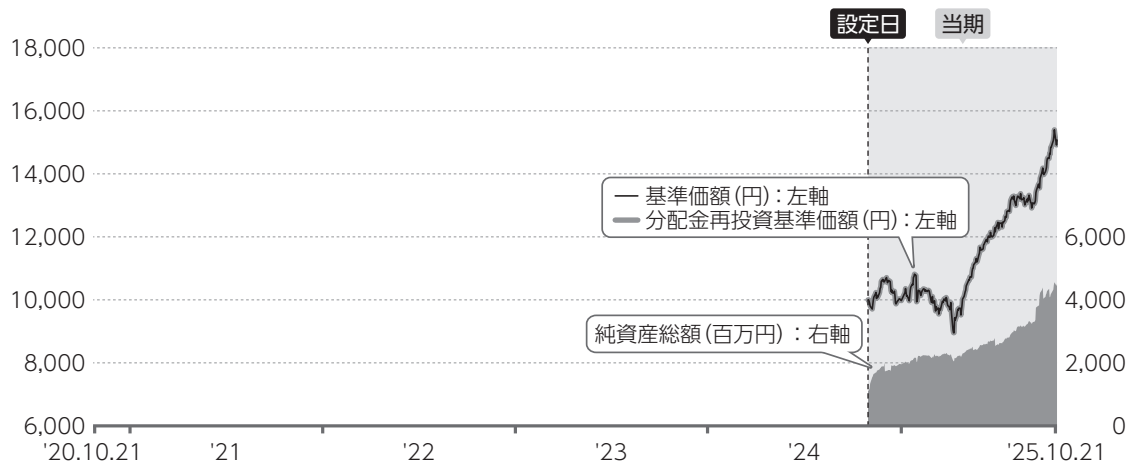
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.81%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年10月21日から2025年10月21日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2024年10月28日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2024.10.28 設定日	2025.10.21 決算日
基準価額	(円)	10,000	15,074
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	50.7
純資産総額	(百万円)	1,115	4,511

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

グローバル株式市場は、上昇しました。

グローバル株式市場は上昇しました。

米国株式市場は、期初はトランプ政権による政策への期待やFRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ決定、好調な企業決算を背景に上昇しました。その後、高値警戒感や追加利下げ観測の後退、関税や外交姿勢への不安、中東情勢の悪化などが重なり、調整局面もありました。しかし、米中関係改善、原油安、インフレ懸念の緩和、企業業績の堅調さ

が下支えとなり、期末にかけて再び上昇しました。

欧州株式市場も、ECB(欧州中央銀行)の利下げや米中関係の進展、ガザ停戦合意などによる地政学リスクの緩和、景気回復期待を追い風に、一時的な政治的不透明感やエネルギー価格変動で下げる場面を経ながらも、概ね堅調に推移しました。

ポートフォリオについて(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

当ファンド

期を通じて、「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」を高位に組み入れました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド

●株式組入比率

株式の組入比率を高位に維持しました。

●国別配分

地域別では、北米、欧州(含む英国)を中心に投資しました。

国別では、米国、フランス、スイスなどを組入上位としました。

●通貨別配分

国別配分を反映し、米ドル、ユーロ中心の構成となりました。

●業種配分

業種別では、発電、送電、蓄電の3つの分野に着目し、資本財・サービス、公益事業、情報技術などに投資しました。

●個別銘柄

個別銘柄では、TEコネクティビティ(スイス/情報技術)、ハベル(米国/資本財・サービス)、プリスマン(イタリア/資本財・サービス)を組入上位としました。

●ポートフォリオの特性

発電、送電、蓄電の3つの分野に着目し、企業の成長見通しや株価の割安度等の分析を踏まえた運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第1期
当期分配金 (対基準価額比率)	0 (0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,073

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」への投資を通じて、電力需要の拡大や電力市場の変革に伴い恩恵を受けることが期待される、日本、新興国を含む世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行います。

### ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド

各国政府のAIインフラ支援や大規模クラウド事業者によるAIデータセンター向け巨

額投資が継続し、当戦略テーマにとって持続的な追い風が見込まれます。米国のAIアクションプラン、欧州の競争力コンパス、コンサルティング各社、国際エネルギー機関および国際通貨基金の電力需要・投資見通しがこの見込みを裏付けています。

今後、米国内のAIデータセンター電力需要が30倍に拡大すると予測する向きもあり、オープンAIも数兆米ドル規模の建設投資を明言しています。すでに政府、半導体メーカー、AI企業間で大型契約が相次いでおり、AI推論シフト、途上国インフラ整備、データプラン低廉化、IoT(物のインターネット化)機器増加など複数の構造的要因が世界的な電力需要の急成長を一段と後押しすると考えられます。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)

### 交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

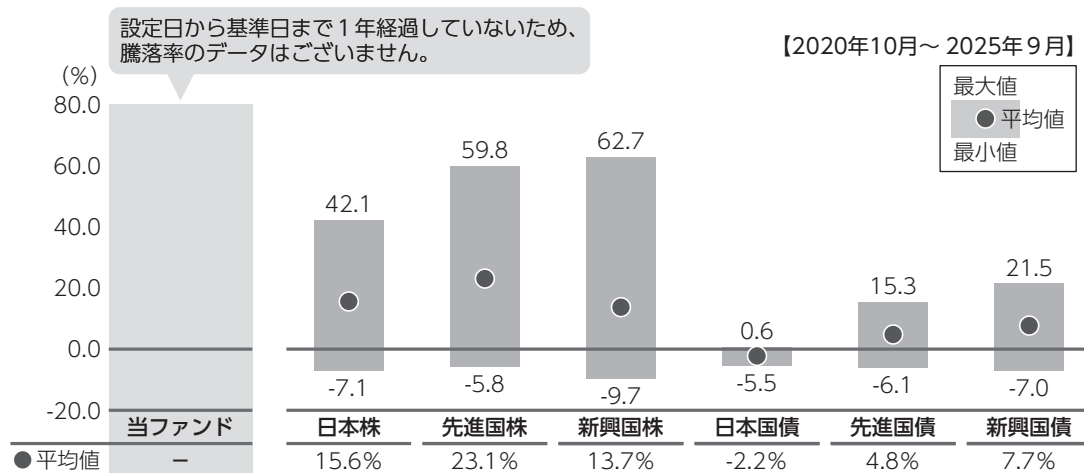
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることが期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	無期限(設定日：2024年10月28日)
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド</b> 世界の株式
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、電力需要の拡大や電力市場の変革に伴い恩恵を受けることが期待される、世界の株式に投資を行います。</li> <li>■マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに委託します</li> <li>■実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。</li> </ul>
組 入 制 限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p><b>ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年10月21日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

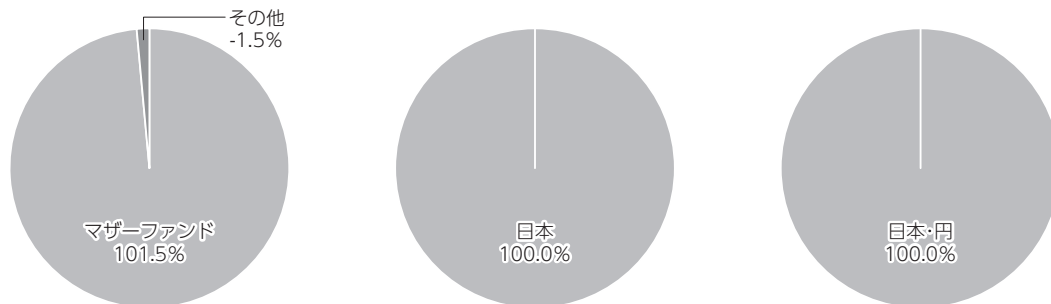
### 当ファンドの組入資産の内容(2025年10月21日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド	101.5%
コールローン等、その他	-1.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※実質外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

#### 純資産等

項目		第1期末 2025年10月21日
純資産総額	(円)	4,511,478,129
受益権総口数	(口)	2,992,943,179
1万口当たり基準価額	(円)	15,074

※当期における、追加設定元本額は3,150,241,382円、解約元本額は1,272,668,321円です。

組入上位ファンドの概要

ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド(2024年10月28日から2025年10月21日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	9	(9)
有価証券取引税	(株式)	13	(13)
その他費用	(保管費用)	1	(1)
	(その他)		(0)
合計		24	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

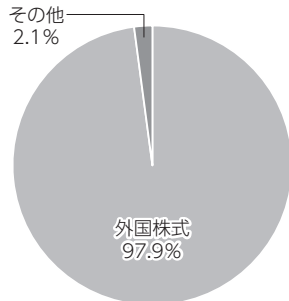
組入上位銘柄

(基準日：2025年10月21日)

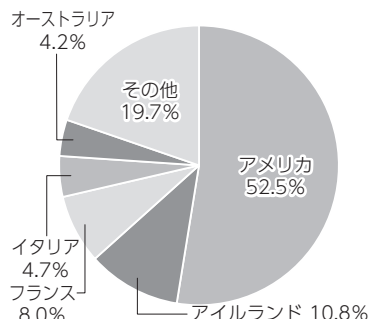
	銘柄名	業種	組入比率
1	CENTRUS ENERGY CORP-CLASS A	エネルギー	4.9%
2	TE CONNECTIVITY PLC	テクノロジー・ハードウェア および機器	4.8%
3	PRYSMIAN SPA	資本財	4.6%
4	HUBBELL INC	資本財	4.5%
5	BLOOM ENERGY CORP- A	資本財	4.1%
6	LYNAS RARE EARTHS LTD	素材	4.1%
7	HOWMET AEROSPACE INC	資本財	4.1%
8	NKT A/S	資本財	3.9%
9	DOMINION ENERGY INC	公益事業	3.4%
10	NVENT ELECTRIC PLC	資本財	3.2%
	全銘柄数	38銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。  
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

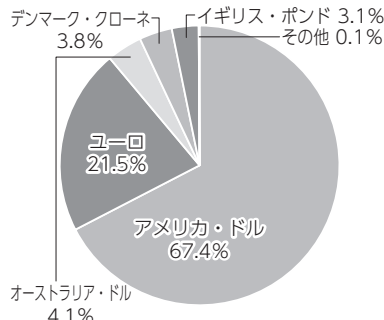
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年10月21日現在です。